

玖島小学校の沿革

明治	6	玖島村榑原郷倉（ならばらごうのくら）をもって校舎にあて有護舎とする	
	9	校名を玖島小学校と改称	
	24	校名を玖島尋常小学校と改名	
	30	各尋常小学校を廃し、玖島尋常高等小学校を4月より設置	
昭和	16	広島県佐伯郡玖島村立玖島国民学校と改称	
	22	広島県佐伯郡玖島村立玖島小学校と改称	
	23	玖島村PTA会成立	
	26	津田高等学校玖島分校設置	
	29	校歌制定	
	27	玖島学園と称し保育所、小学校、中学校、高等学校が1カ所で教育する	
	30	町村合併により佐伯町立玖島小学校と改称	
	31	小学校に新校舎落成（総2階10教室）	
	45	玖島中学校が佐伯中学校と統合	
	45	学校プール落成式	
	48	創立100周年記念式典を挙行、記念石像建立	
	53	太田洋子文学碑除幕式 体育館、給食調理室落成	
	58	川上分校、平谷分校廃校	
	60	新校舎落成式（敷地3230㎡、建築面積2370㎡） 玖島小学校改築記念「玖島教育のあゆみ」発行	
	63	運動場拡張工事完成	
	平成	3	環境美化表彰 新プール竣工式
		4	交通安全町民大会にて「花菖蒲渡し」表彰
		13	P T A 第1回「みんなきんさいおどりん祭」開催
15		廿日市市との合併により廿日市市立玖島小学校に改称	
16		第20回「花菖蒲渡し」で廿日市交通安全協会などにより表彰 台風18号により校庭の梅が倒れ伐採	
17		「玖島わくわくファーム」開園	
21		3年生子どもファームネット活動が農林水産大臣賞を受賞	
21		3年生「玖島長なす新聞」が廿日市さくら賞を受賞	
23		広島県夢達人プロジェクト事業 チャレンジ学校づくり支援事業 原小学校との交流会実施	
25		子どもの読書活動優秀実践校文部科学省表彰	



⑥昭和53年、体育館落成式でみこしを担ぐ子どもたち⑦昭和60年撮影、竹飯ごうの様子。



現在の学校の様子



「花菖蒲(ショウブ)渡し」交通安全を祈願し、道行くドライバーに向け児童から花ショウブを渡します。昭和58年から現在まで続いてきました。



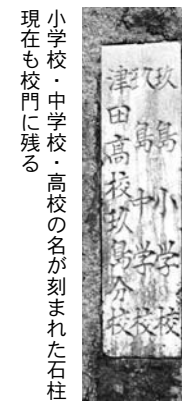
⑧プール竣工（しゅんこう）式。平成3年撮影。保護者、地域の人も集まったのお披露目となりました。昭和63年に行われた運動場の拡張工事と合わせ、現在の玖島小の姿になりました。  
⑨平成3年撮影の授業風景。



①昭和53年撮影。昭和60年に現在の校舎が建設されるまで、2階建ての校舎でした。②同じ敷地内に小学校、中学校、高等学校の校舎があり、玖島学園の名称で愛されていました。③昭和37年撮影の町内運動会。当時は地区ごとに分かれ対抗戦を行っていました。特に地区対抗のリーグ戦は、熱くなり盛り上がったとのこと。



④学校のシンボルツリーのイチヨウ。手前の山は玖島富士といわれ、子どもたちの遊び場でした。⑤地域の有志による遊具作りの様子。玖島富士など多くの遊具が手作りされました。



小学校・中学校・高校の名が刻まれた石柱。現在も校門に残る。



玖島小学校校章

# 02 my precious school

## そこは学年を超えた学び舎だった。玖島小学校

昭和27年には小学校の敷地に玖島学園として保育園から高等学校まで同じ敷地にあった玖島小学校。前身である「有護舎」からその歴史は始まりました。142年間もの間、数多くの卒業生を輩出してきた玖島小。その長きにわたる歩みを、写真や思い出話とともに振り返ります。



⑩川上分校（昭和44年閉校）と⑪平谷分校（昭和53年）。4年生になるとそれぞれの分校から本校に通った。

### memories



やくしんじ 矢口 信二さん（66歳） かよこ 加代子さん（62歳）

#### Profile（矢口信二さん）

昭和35年玖島小学校卒業。2人の子とも同小学校を卒業。現在、矢口信二さんは玖島地区コミュニティ推進協議会長を務める。

### 地域の有志が学校で子どもたちの遊び場を作りました。

私が通っていた時には同じ敷地に小・中・高の校舎、それに加え平谷（ひらだに）と川上（かわかみ）に分校がありました。4年生になるとそれぞれの分校から通う子と机を並べ勉強をしていました。子どもが通うようになってからは、親として学校に携わっていきました。今も残るイチヨウの木の前は、実をいうと当時の地域の有志が土を盛り、子どもたちの遊び場を作ったのが始まりです。同

じょうに、丸太の橋も作ったり、水道の整備をしたりとしたことを覚えています。今はもう無くなってしまいましたが、校門の前には梅の木が植えられ、卒業式の時期にはきれいな花を咲かせていました。思い出の残る母校がなくなるのは、とてもつらいことです。ただ悲観するだけで、このまま何もしなければ状況は変わりません。新しい風を呼び込む方法をここに暮らす皆と共に考えていきたいです。

### 校舎の中には、大切な思い出がたくさん詰まっています。

今も思い出に残っているのはイチヨウの木。その前の小山は玖島富士（くじまふじ）と呼ばれていました。当時は山の中に子どもが通れる土管があり、その中で遊んでいました。また、給食も思い出の一つ。大きな部屋でみんなで一緒に食べていました。学校で育てた農作物を地域に住む人を招いて食べる「収穫祭」も思い出深いです。校舎の中には、忘れられない大切な思い出がたくさん詰まっ

ています。閉校がきっかけとなり玖島に関わる人を中心に「くじま楽演隊（がくえんたい）」ができました。学校がなくなっても校歌は歌われていきます。玖島に住む人が一緒に校歌を演奏したり、歌ったりすることで一つになればと思います。「玖島を盛り上げていきたい、知ってもらいたい」、その思いは学校がなくなる今、より一層強くなっています。

くじまの森代表  
木村 聡子さん（31歳）



#### Profile

平成8年玖島小学校卒業。現在は、玖島市民センターに勤務。くじまの森の活動に参加し、今年から代表を務める。